

品名		ワークワイド顆粒水和剤 (イミダクロプリド・スピノサド水和剤)					国連番号		該当せず						
該当法規・危険有害性															
消 防 法						毒物及び劇物取締法			高圧ガス保安法		火薬類取締法			道路法	
類 別						品 名 (法別表)	毒 物	劇 物	特 定 毒 物	一 般 高 圧 ガ ス	液 化 石 油 ガ ス	火 薬	爆 薬	火 工 品	施行令第19条の12、13に該当
第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類										
							●								
特 性	危 険 性			有 害 性					環 境 汚 染 性		性 状				
	禁水性	爆発性	可燃性	有 害 ガ ス 発 生			目・皮膚に触れると危険	河川への流入注意	固 体	液 体	気 体	水 溶 性			
				常 温	加 熱 時 火 災 時	水 に 接 触									
					●		●	●	●						
<b>事故発生時の応急措置</b> ①車を、安全な場所に移動する。(人家や人ごみを避け、できるだけ交通の障害にならないような場所に移動し、エンジンを停止し、車止めをする。) ②事故の発生を大声で告げ、下記事項を消防署及び警察署に通報し、人を風上に避難させる。 ③エンジンの熱や火花は着火源になります。 ④保護具を着用し、漏れ止め・回収・消火を行う。															
<b>緊急通報</b> 119 (消防署)    110 (警察署)    高速道路の非常電話 [緊急通報例] 1. いつ                      ○○時○○分頃 2. どこで                    ○○市○○地区(国・県・市)道○○線○○付近で 3. なにが                    「ワークワイド顆粒水和剤(イミダクロプリド・スピノサド水和剤)が 4. どうした                 飛散しています、飛散して火災になってます 5. ケガ人は                 ケガ人がいます(救急車をお願いします)    ケガ人はいません 6. 私の名前は             ○○運送会社    ○○です															
<b>緊急連絡</b> (特に休日・夜間に確実に連絡が取れる部署の電話番号を記入する)															
荷主会社		ダウ・アグロサイエンス日本(株)					運送会社								
住 所		東京都千代田区永田町 2 丁目 11 番 1 号 山王パークタワー					住 所								
電 話		24時間受信 0120-001017					電 話		平日・昼間 休日・夜間						

品名	ワークワイド顆粒水和剤 (イミダクロプリド・スピノサド水和剤)	国連番号	該当せず
災 害 拡 大 防 止 措 置			
特記事項	処理剤		
<ul style="list-style-type: none"> <li>● イミダクロプリド 劇物 10%</li> <li>● 中毒事故の相談：(公財)日本中毒情報センター 大阪中毒 110 番 (☎ 072-727-2499) つくば中毒 110 番 (☎ 029-852-9999)</li> </ul>			
<p><b>漏洩・飛散したとき</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 必ず保護具を着用し、風上で作業する。</li> <li>② 付近への流出拡大防止のため周囲を土砂等で囲う。</li> <li>③ 粉塵が飛散しないように注意して掃き集め、密閉できる空容器に回収し、その後、多量の水で洗い流す。但し、直接河川、用水路には流さない。</li> </ol> <p><b>周辺火災のとき</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 付近の住民等を風上に避難させる。</li> <li>② 必ず保護具を着用し、風上で作業する。</li> <li>③ 消火する場合は、粉末、泡、二酸化炭素消火器、水噴霧を用いて消火する。</li> <li>④ 容器が加熱されている場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。</li> <li>⑤ 可能なら消防水の河川への流出を防ぐ。</li> </ol> <p><b>引火・発火したとき</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 付近の住民等を風上に避難させる。</li> <li>② 必ず保護具を着用し、風上で作業する。</li> <li>③ 消火する場合は、粉末、泡、二酸化炭素消火器、水噴霧を用いて消火する。</li> <li>④ 容器が加熱されている場合は、容器及び周囲に散水し冷却する。</li> <li>⑤ 可能なら消防水の河川への流出を防ぐ。</li> </ol> <p><b>救急措置</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 皮膚に付着した場合は、衣服や靴を脱がせて、石鹼と大量の水で洗う。</li> <li>② 吸入した場合は、直ちに新鮮な空気のある場所に移し、保温して安静に保ち、呼吸困難な場合や呼吸が停止している場合は、人工呼吸を行う。</li> <li>③ 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗う。</li> <li>④ 飲み込んだ場合は、医師の指示がない限り吐かせない。医師の診察を受ける。</li> </ol>			